

令和8年産米品質改善技術情報 第2報

いもち病に注意を！

6月26日に病害虫防除所からイネいもち病の技術情報が発表されました。

今年度は、定期的な降雨があり、気温も高かったことから、全県下的に感染好適条件となる日が複数回確認され、いもち病発生リスクが高まっています。

圃場や地域によっては、初発が始まっていますので、早期発見・早期防除に努めましょう。

いもち病感染好適条件の判定結果(病害虫防除所、6月30日時点)

令和8年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	粥見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
6/01	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/02	●	●	-	-	-	●	-	●	●	-	-	-	-
6/03	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/04	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/05	-	-	△	-	△	-	△	-	-	●	-	-	-
6/06	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/07	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△	-	-	-
6/08	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/09	△	△	-	-	-	●	-	●	-	●	◎	●	-
6/10	-	-	-	-	-	-	◎	-	-	◎	◎	◎	●
6/11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/12	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/15	-	-	-	△	-	-	-	-	-	-	△	●	-

令和8年	桑名	四日市	亀山	上野	津	小俣	粥見	鳥羽	南伊勢	紀伊長島	尾鷲	熊野新鹿	新宮
6/16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/17	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/18	-	△	-	-	-	●	●	-	-	●	●	●	-
6/19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/20	-	-	●	●	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6/21	-	-	-	-	-	●	-	●	-	-	-	-	-
6/22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/23	-	-	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-
6/24	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/25	●	-	●	●	-	●	△	●	●	-	-	-	-
6/26	-	-	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	-
6/27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6/28	-	-	-	●	-	-	-	●	●	-	-	-	-
6/29	-	-	-	△	-	●	-	-	●	●	-	-	-
6/30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

●:好適条件(葉面の湿潤時間が十分で、その時間の平均気温が15～25℃、かつその日以前5日間の日平均気温の平均値が20～25℃の場合)

△:準好適条件(湿潤時間は10時間以上だが、前5日間の平均気温が20℃未満)

◎:準好適条件(湿潤時間があるが、感染のための基準値には満たない場合)

●(好適条件)となった日から、7～10日後が葉いもちの初発となり、既に葉いもちの病斑が見られる可能性が高いため、発生状況により予防又は治療効果のある殺菌剤を使用して、防除を行いましょう。

いもち病に登録のある殺菌剤(例)

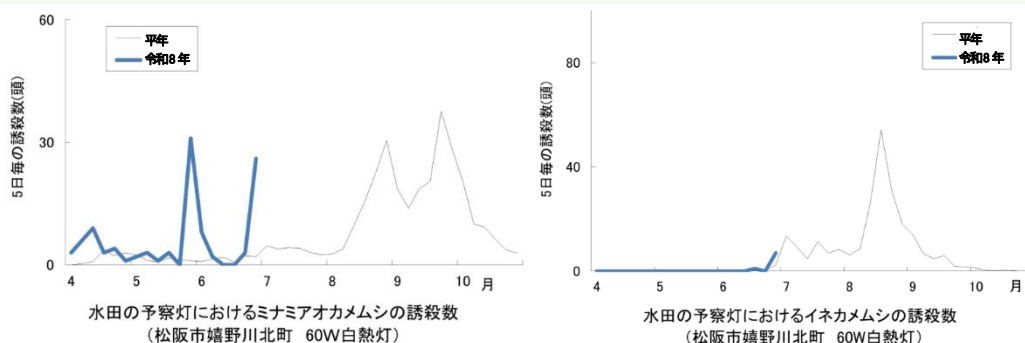
- ① 予防剤(感染好適条件～初発確認の場合)
オリゼメート、サンブラス、コラトップ他
- ② 治療剤(葉いもちの病斑が散見される場合)
カスミン他
- ③ 混合剤(①と②の混合)
ブラシン、ノンブラス、ファンタジスタ、フジワン他

1か月予報(名古屋地方気象台、7月2日)では、今後も曇りや雨の日が多いと予想されるため、圃場で発生状況を確認のうえ、防除を行いましょう。

葉いもちが上位葉に発生している場合、穂いもちの感染源にもなるため、穂ばらみ期～穂揃期に混在剤による防除を行いましょう。

カメムシ防除を実施しましょう！

今年度は、斑点米カメムシ類の一種であるミナミアオカメムシが多く発生しています。また、例年、イネカメムシは7月上旬頃から増加する傾向であるため、今後の発生が見込まれます。出穂直後の加害は不稔粒発生により減収の原因となり、登熟期の加害は斑点米を発生させ、玄米品質の低下を招きます。適期に防除を実施しましょう。



斑点米カメムシ類の発消長(病害虫防除所、6月30日発表)

出穂直後に1回目の薬剤散布を行った場合、その2週間後が2回目の散布適期となります。
薬剤(使用例:殺虫剤スタークル・キラップ・エクシード等)を使ったカメムシの防除を実施しましょう。
※感受性の低下を防ぐため、異なる系統(IRAC)の殺虫剤をローテーションして使用しましょう。

8年産の出穂期と成熟期の予測

コシヒカリの出穂期・成熟期予測

移植日	松阪市		伊賀市	
	出穂期	成熟期	出穂期	成熟期
4月10日	7月9日(-5)	8月13日(-4)	—	—
4月20日	7月14日(-3)	8月18日(-3)	7月18日(-5)	8月21日(-5)
4月30日	7月19日(-3)	8月23日(-2)	7月22日(-4)	8月25日(-4)
5月10日	7月25日(-2)	8月28日(-2)	7月26日(-4)	8月29日(-4)
5月20日	7月31日(-2)	9月4日(-1)	8月1日(-3)	9月5日(-3)

注1)メッシュ農業気象・水稻生育予測システム ver2.0 による予測値。注2)予測場所は松阪市嬉野と伊賀市森寺。注3)予測日:7月2日。注4)カッコ内は過去10年間の平均値との比較。

8年産の「コシヒカリ」は、5月は日照不足により、生育が平年より小さい傾向でしたが、6月中下旬は日照が多く気温も高かったため、現時点の生育は概ね平年並みとなっています。また、気温の影響により、「コシヒカリ」の出穂期は平年より3～4日程度早くなると予想され、成熟期についても2～4日程度早くなる見込みです。

令和8年7月8日
三重県産米品質改善対策会議